

## ■実証実験の概要

東京都交通局では、自動運転の実装を目指した取組として、既存のバス路線の一部を運行ルートとした大型バスによる実証実験を行いました。実証実験は自動運転レベル2（運転手が乗車し、状況に応じて手動運転）で実施しました。

### ○運行期間

令和8年6月21日（日）～令和8年6月29日（月）  
※23日（火）は運休

### ○運行ルート

新木場駅前⇄日本科学未来館（片道約6km）  
※急行05系統の一部区間

### ○運行便数

1日4往復・8便（午前4便、午後4便）

### ○車両

大型バス車両（いすゞ自動車 ERGA（エルガ））  
乗客定員20名（着座）



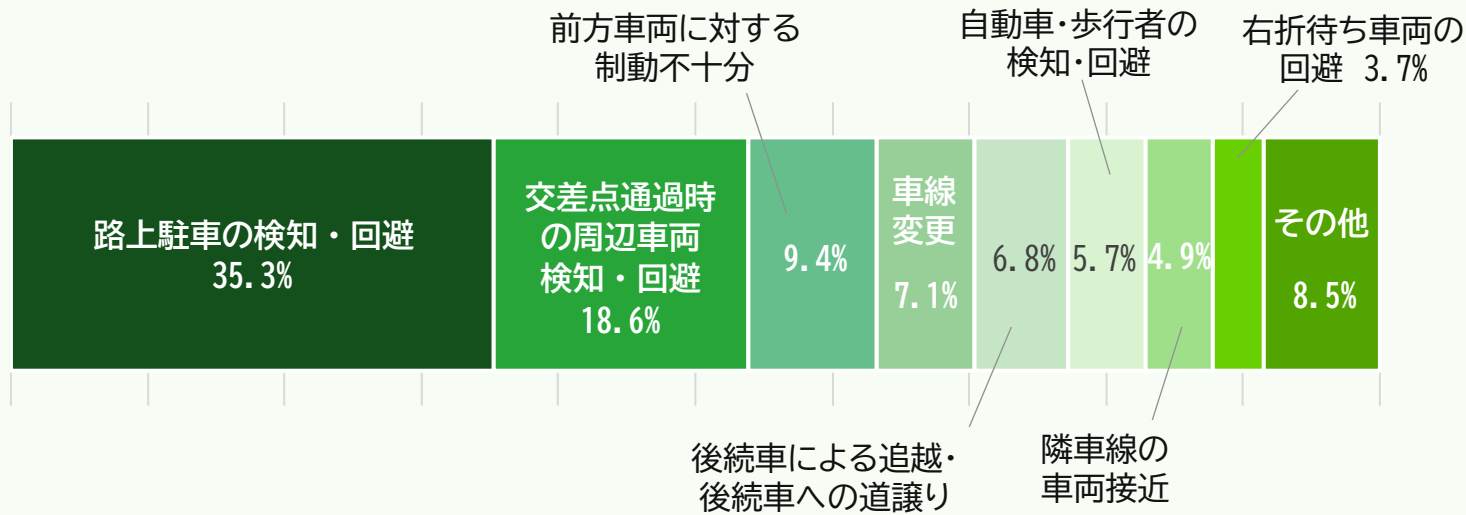
# ■実験結果の概要

○延べ乗車人数 1,044名（実験期間合計）

## ○走行データの分析結果

- ・ 自動運転の割合は85％（実験期間平均）
- ・ 手動走行の要因として「路上駐車への検知・回避」「交差点通過時の周辺車両検知・回避」が多く発生
- ・ 手動走行の大部分が、バス停留所や交差点付近で発生

### 手動走行の要因



### 手動走行発生例



路上駐車への検知・回避  
バス停付近に路駐車車両があることで、進入・発車時に手動走行が必要



交差点通過時の周辺車両検知・回避  
大型車両接近や対向右折車の検知に伴って、バスが減速・停止してしまうため、手動走行が必要

○試乗者へのアンケート実施結果（概要）（回答数：395件 回答率：37.8%）

- ・ 自動運転バスへの印象として、「安心」「やや安心」と回答した方が乗車後に増加
- ・ ブレーキやハンドル操作、乗り心地について、多くの方から好意的な回答をいただき、都営バスにおける自動運転バスの導入については、90%を超える方が「期待できる」「やや期待できる」と回答
- ・ 一方で、走行スピードに関しては、約40%の方が「やや遅い」「遅い」と回答

